



取扱説明書

〒154-0023
東京都世田谷区若林1-18-6
Web: www.vestax.jp E-Mail: cs@vestax.jp

Head Office
1-18-6 Wakabayashi, Setagaya-ku, Tokyo 154-0023 Japan
Web: <http://www.vestax.com/>

Vestax Global Support
csg@vestax.jp

Vestax Europe Support
cse@vestax.jp

目次

| | |
|----------------------|----|
| 目次 | 2 |
| ご使用上の注意 | 2 |
| 安全上の注意 | 3 |
| Spin の楽しみ方 | 4 |
| 同梱品 | 4 |
| 推奨動作環境 | 4 |
| セットアップ | 5 |
| djay のセットアップ | 6 |
| 各部の名称と機能 | 7 |
| Spin with djay 簡単ガイド | 9 |
| 応用編 | 13 |
| サポート | 16 |
| 主な仕様 | 16 |
| 保証とアフターサービス | 17 |

ご使用上の注意

電源について

- 雑音を発生する装置（モーター、調光器など）や消費電力の大きい機器とは、異なるコンセントを使用して下さい。
- 接続する際は、誤動作、スピーカーなどの破損を防ぐため、必ず全ての機器の電源を切ってから行って下さい。

設置について

- この機器の近くにパワーアンプなどの大型のトランスを持つ機器があると、ハム(うなり)を誘導することがあります。この場合は、本機との間隔や方向を変えて下さい。
- テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色むらが発生したり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用して下さい。

お手入れについて

- 通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、堅く絞った布で汚れを拭き取って下さい。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きして下さい。
- 変色や変形の原因となるベンジン、シンナー及びアルコール類は、使用しないで下さい。
- 故障の原因となりますので、市販の接点復活剤・潤滑スプレーの中でも、シリコンオイル製スプレーは使用しないで下さい。

修理について

- お客様が本機を分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合がございます。
- 当社では、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後、6年間保有します。この部品保有期間を修理可能な期限とさせていただきます。なお、保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げのお店または、当社商品の取扱店にご相談下さい。
- 本機の保証期間は1年ですが、クロスフェーダーやインプットフェーダーなどは、耐久性を超えた使い方(過度なスクラッチプレイでご使用になった場合等)をされると、通常のパーツの耐久期間(1年以上)が、1ヶ月に短縮されてしまうことがあります。その場合、保証内で修理に出されても、消耗部品という判断により、パーツ交換代として実費を請求させていただくことがあります。

その他の注意について

- スイッチ、ツマミ、入出力端子等に過度の力を加えると、故障の原因となりますのでご注意ください。
- ケーブルの抜き差しは、ショートや断線を防ぐ為に、プラグ自体(頭の部分)を持って行うようにして下さい。
- 音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がかからないように、特に夜間は音量に十分注意して下さい。

安全上の注意

「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に止めるために、いろいろな絵表示をしていますので「安全上のご注意」の内容をよくご理解下さいようお願い致します。

警告 この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

の例



プラグをコンセントから抜け



分解禁止



を挟まれないよう注意

- 記号は行為を強制したり表示する内容を告げるものです。図の中に具体的な表示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。
- 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
- △ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（左図の場合は指をはさまれないよう注意）が描かれています。

警告



プラグを
ら抜け

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

注意



プラグを
ら抜け

- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- USB機器はUSBケーブルを端子から抜いてから行ってください。



- オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる際には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力傷害などの原因となることがあります。
- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談してください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



- 調理台や加湿器のそばなど湯煙が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

Spin の楽しみ方

1. djay を操作する

Spin を使って音楽ソフトウェア djay を操作し、iTunes ライブラリ内の楽曲を楽しむことができます。djay では楽曲の再生、ミックス、ループができ、Spin でこれらの機能を操作します。Spin ではプロの DJ と同じ感覚で DJ プレイを楽しむことができます。スクラッチ、CUE、EQ、などの DJ に必要な要素のすべてが Spin には装備されています。

2. 自分の声を録音する

djay にはマイク・アンプとマイク・エフェクト（ピッチ、エコー、レベル）が内蔵されており、自分の声を録音することができます。エフェクトを組み合わせると歌の練習や録音をコントローラー & マイク機能と一緒に楽しむことができます。

3. 音楽を聴く

Spin をサウンドカードとして djay で再生される楽曲をお楽しみいただけます。Spin をステレオやお使いの音響システムにつなぎ、automix で楽曲を再生するとジュークボックス感覚で iTunes ライブラリ内の楽曲をお楽しみいただけます。

同梱品

- ・取扱説明書
- ・USB ケーブル
- ・djay インストール CD-ROM
- ・djay インストールガイド
- ・マイク × 1 本
- ・変換プラグ（φ3.5mm → φ6.3mm）× 1 本

推奨動作環境

OS : Mac OS X 10.4.11 以上

CPU : Intel CPU もしくは同等以上

RAM : 1GB 以上

空き USB 端子

セットアップ

Spin には専用のドライバは不要ですので、USB ケーブルを接続するだけで簡単にインストールが可能です。

1. Spin とコンピュータの USB ポートを USB ケーブルにて接続します。



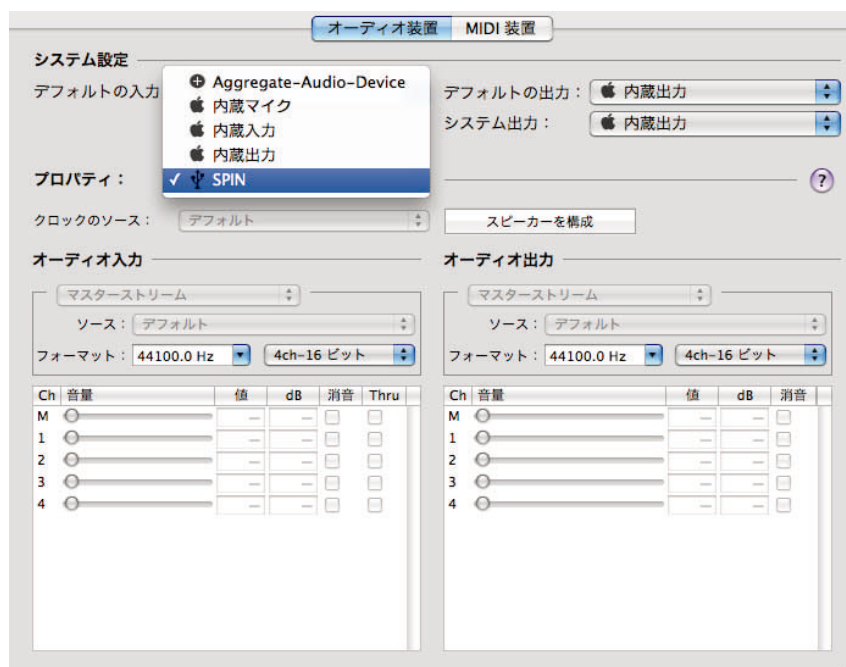
2. Spin の背面パネルにある、電源スイッチを "USB" に切り換えます。



これでセットアップ完了です。

Macintosh 上にて Spin が認識されているかを確認するには、以下を確認します。

1. Macintosh HD > アプリケーション > ユーティリティ から "Audio MIDI 設定" を開きます。
2. "プロパティ" のプルダウンメニューが下図の様になっていれば、Macintosh に Spin が認識されています。



※ djay ソフトウェアのインストールは別紙の "djay インストールガイド" を参考してください。

djay のセットアップ

- Spin を USB ケーブルでお使いのコンピューターに接続してください。
- Spin のリア・パネルにある電源スイッチを「USB」に設定してください。
- djay ソフトウェアのインストールは別紙の "djay インストールガイド" を参考してください。

1. djay を起動します
2. 下の画面が表示されます。「マスター出力」、「モニタリング」、「マイク入力」にチェックを入れ、OK をクリックします。

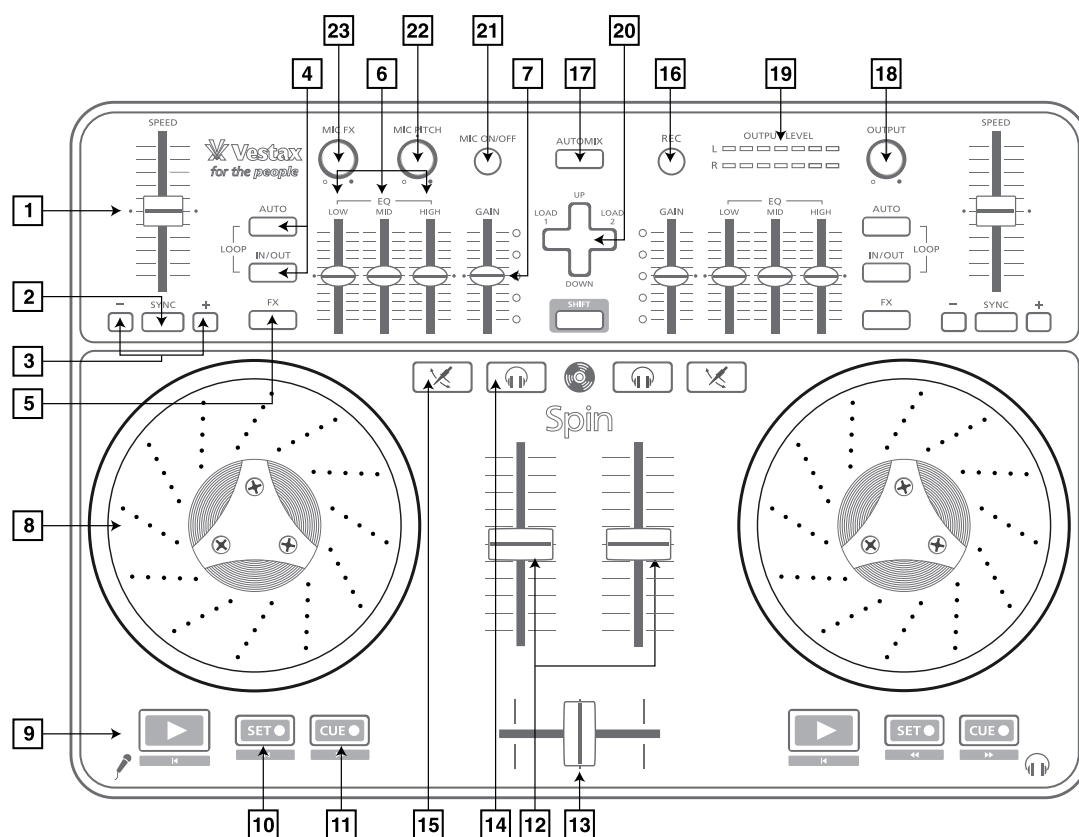


3. 「環境設定」メニューを開きます。(djay > 環境設定)
4. 「デバイス」タブをクリックして以下のとおりにオーディオ設定を行ってください。



5. 「適用」をクリックしてください。
(マイク)

各部の名称と機能

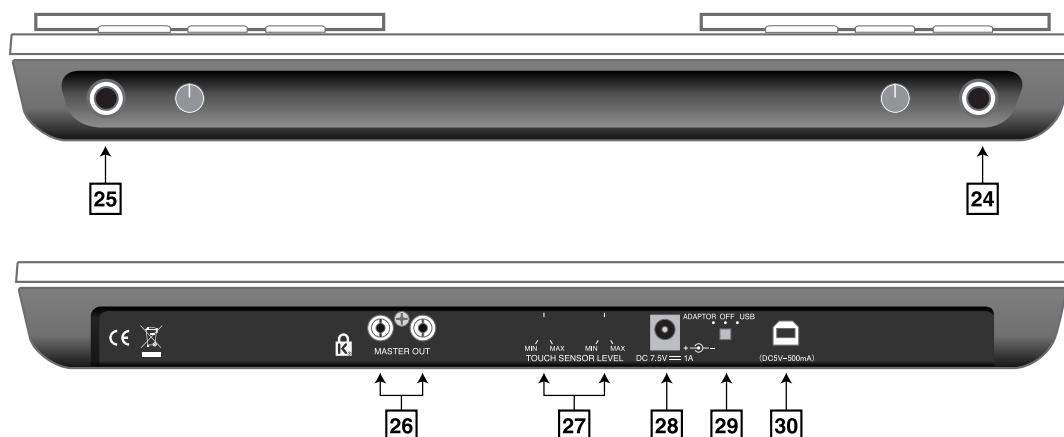


★ DJ Control Section

| NO. | ボタン | 機能 |
|-----|---------------|---|
| 1 | SPEED SLIDER | 曲の再生スピードを早くしたり、遅くしたりします。 |
| 2 | SYNC | 既に流れている曲の BPM(TEMPO) に同期させます。 |
| 3 | PITCH BEND | 曲の再生スピードを若干早くしたり、遅くしたりします。 |
| 4 | LOOP SECTION | "AUTO" を押すとあらかじめ diay 上で設定した拍数 (長さ) で LOOP プレイが始まります。 "IN/OUT": LOOP を始めたい部分で一度ボタンを押し、終わりたいところで再度ボタンを押します。 これで希望の長さの LOOP ができます。(djay はあらかじめ決められたグリッドに沿って LOOP 処理を行いますので、グリッドから外れたポイントでの LOOP は行えません) |
| 5 | FX | エフェクターの ON/OFF。 |
| 6 | EQ section | 3 つのツマミがそれぞれ、低音 (LOW)、中音 (MID)、高音 (HIGH) の調整を行います。 |
| 7 | GAIN | デッキに読み込まれた音量の増幅を行います。 |
| 8 | JOG / PLATTER | 再生されている曲をレコードの様に動作させます。 |
| 9 | Play | 曲の再生を行います。 |
| 10 | SET CUE | CUE ポイントの設定を行います。CUE ポイントとはプレイを始めたい部分のことを言います。 |
| 11 | CUE Play | 設定した CUE ポイントにカーソルを移動します。ボタンを押したままにすると、CUE ポイントからの再生になります。 |
| 12 | Volume Fader | 各デッキの音声出力レベルを設定します。 |
| 13 | Cross Fader | 左デッキと右デッキの音声バランスを調整します。 |
| 14 | Monitoring | ボタンを押すと、ヘッドホンに音声が出力されます。この場合、Volume Fader が下がっていても、ヘッドホンには音声が出力されます。 |
| 15 | SEEK | ボタンが点灯しているときに、JOG を回すと通常より早くカーソルの移動ができます。また、左右の SEEK ボタンを同時に押し、JOG 機能の ON/OFF ができます。 |
| 16 | REC | 録音ボタンです。このボタンを押すと、「Recording」のダイアログが表示されます。お好みのファイル名の入力及び保存場所を選択して、この REC ボタン (またはダイアログ上の「保存」) を押すと録音が始まります。録音を停止するにはもう一度、REC ボタンを押します。 |
| 17 | AUTOMIX | ボタンを押すと、djay の AUTOMIX が開始します。 |
| 18 | OUTPUT | 全体の音量レベルを調整します。 |
| 19 | OUTPUT LEVEL | 全体の音量レベルを LED メーターで表示します。 |
| 20 | CURSOR | 音楽ファイルの選択、再生デッキへ音楽ファイルを読み込みます。上下の動作でファイルを選択し、左右の動作でそれぞれのデッキに音楽データを読み込みます。 |

★ Microphone Section

| NO. | ボタン | 機能 |
|-----|------------|---------------------------------------|
| 21 | MIC ON/OFF | マイクを接続している際に、マイク入力の ON/OFF を切り替えられます。 |
| 22 | MIC PITCH | マイクに入力された音声のピッチを変更できます。 |
| 23 | MIC FX | マイクに入力された音声にエフェクトを掛けます。 |



★ Audio I/O

| NO. | ボタン | 機能 |
|-----|---------------|---|
| 24 | HEADPHONE OUT | ヘッドフォンを接続し、モニターします。ジャック左側のつまみで音量を調整します。 |
| 25 | MIC INPUT | マイクを接続します。ジャック右側のつまみで音量を調整します。 |
| 26 | MASTER OUT | 全体の音声出力用の端子です。パワードスピーカーやアンプに接続します。 |

★ Others

| NO. | ボタン | 機能 |
|-----|------------------------|-------------------------------------|
| 27 | TOUCH SENSOR LEVEL | JOG の感度調整をします。 |
| 28 | DC POWER INPUT | 専用 DC アダプタ : DC7.5V 1A (別売) を接続します。 |
| 29 | POWER SOURCE SELECTION | 電源を DC アダプタ、USB、OFF から選択します。 |
| 30 | USB Socket | Spin をコンピューターとつなげるための端子です。 |

★ SHIFT

"SHIFT" ボタンを押しながら、特定のボタンをおすと新たな機能になります。

- SHIFT + AUTO ループの長さを 2 倍にします。
- SHIFT + IN/OUT ループの長さを 1/2 にします。
- SHIFT + FX モーターの ON/OFF をします。

SHIFT + UP/DOWN ブラウザを切り換えます。

- SHIFT + PLAY トラックの頭に戻ります。
- SHIFT + SET 巻き戻しになります。
- SHIFT + CUE 早送りになります。

SHIFT + JOG SHIFT ボタンを押しながら、JOG を動かすことで、音を効果的にカットすることができます。

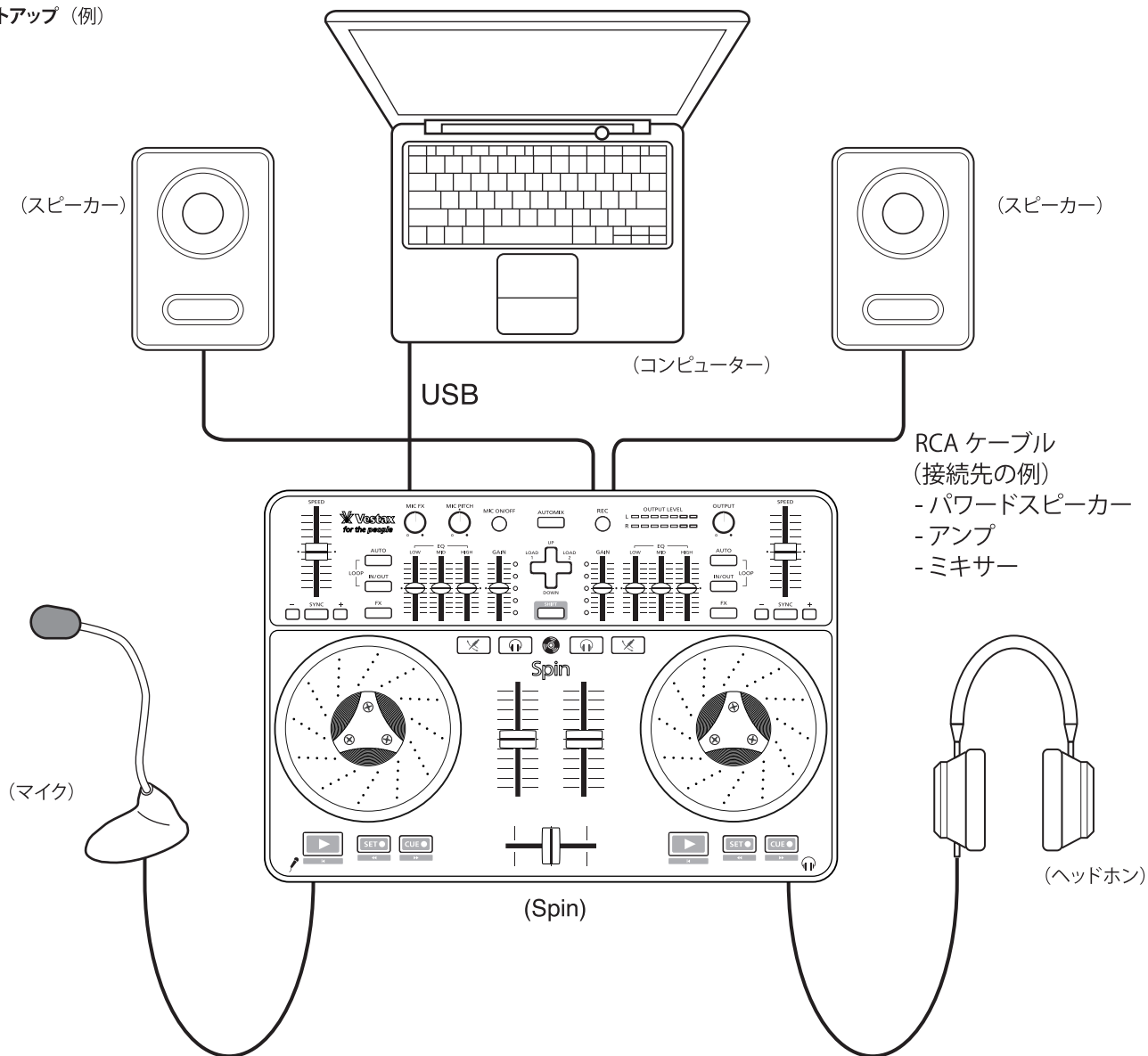
SHIFT + SYNC SHIFT ボタンを押しながら、SYNC ボタンをリズムに合わせてタップ (たたく) することで、BPM を設定します。

SHIFT + pitch-bend +/- 再生スピードを若干早したり、遅くしたりします。(現在スピードを +/-4%)

SHIFT + LOAD1 または 2 Automix のリストに楽曲を追加します。

Spin with djay 簡単ガイド

セットアップ (例)



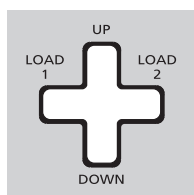
※「セットアップ」は、マニュアル5ページ参照

基本的な操作

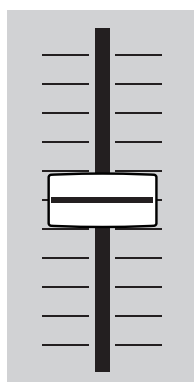
すべてのセットアップが終わったら、早速音を出してみましょう。
まずデッキ1 (左側) に曲を読み込みます。

(注) Spin の左右のフェーダー (12番) が下がっていることを確認します。

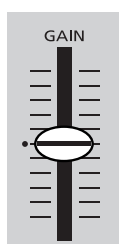
十字キー（20番）の上と下を押しながら画面上の右側の曲目リストからプレイしたい曲を選びます。選択後、十字キーの左側（LOAD1）を押すことで、デッキ1に曲が読み込まれます。



クロスフェーダー（13番）が左一杯にあることを確認し少しずつ左側の縦フェーダー（12番）を上げてみます。曲を読み込んだ状態で曲は既にプレイされていますので、フェーダーを上げると音が出ます。

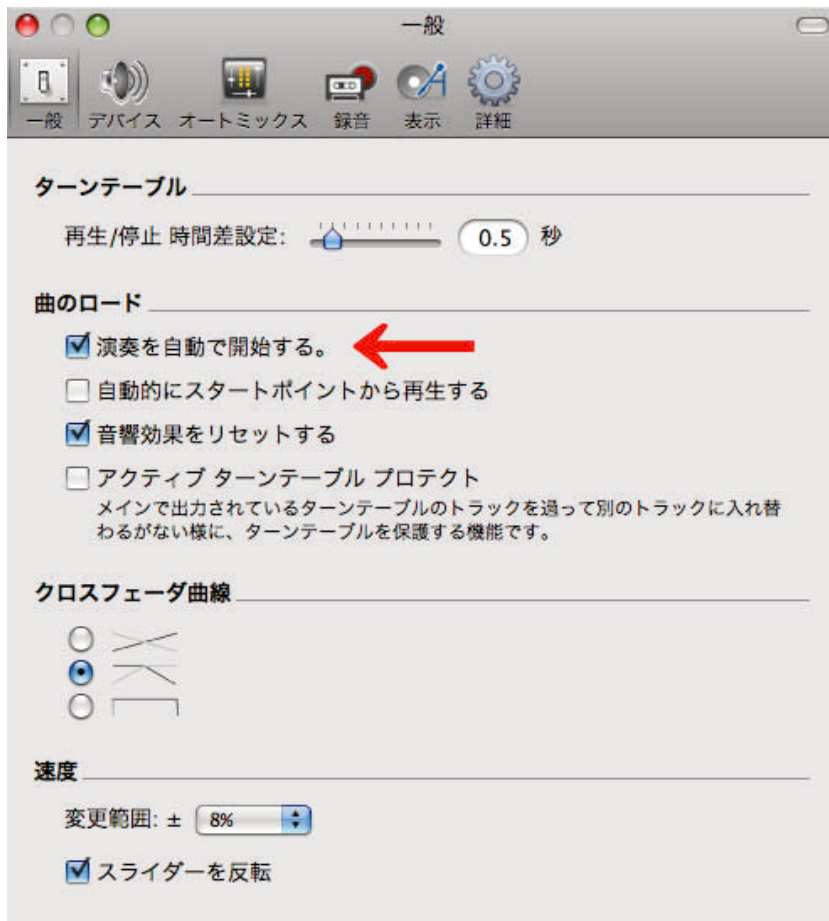


（音量が極端に小さい場合は GAIN フェーダー（7番）を調整し横にある LED メーター中のオレンジ色が点くあたりまで GAIN フェーダーを上下させます。）

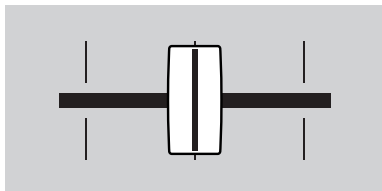


★ワンポイント

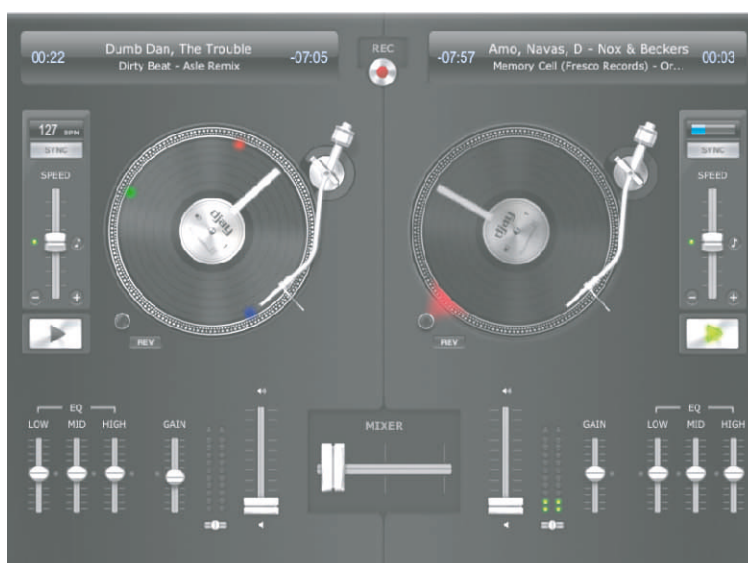
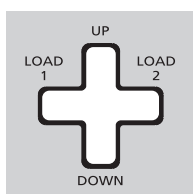
曲を読み込んだ時点でプレイ状態にさせたくない場合は、djayメニュー＞環境設定＞一般にある、「演奏を自動で開始する」のチェックを外してください。



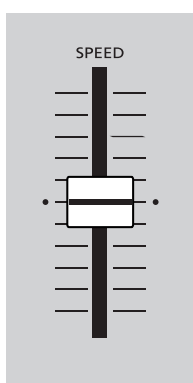
クロスフェーダー（13番）にはデッキ1と2を文字通りクロスさせる機能があります。左一杯にしておけばデッキ1のみの音、右一杯にするとデッキ2の音だけが出ます。クロスフェーダーを真ん中にしておくと、縦フェーダー（12番）のバランスをとることでミックスも可能です。



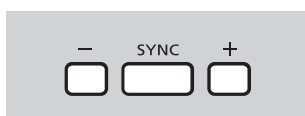
次に、先ほどと同じように十字キー（20番）でデッキ2（右側）に好みの曲を読み込みます。今度は曲を選択後、十字キーの右側（LOAD2）を押します。



これで左右（1・2）のデッキから音楽が流れている状態です。クロスフェーダー、縦フェーダーを上げれば左右の曲が混ざりますが、左右のテンポはバラバラのままですから、バラバラの音になっているはずですが。



ここで、右側（または左側）Speed スライダー（1番）の下にある SYNC ボタンを一回押します。



デッキ1と2のテンポがそろいます。これで、容易にミックスをすることが可能になりました。

★ワンポイント

"Monitoring" ボタン（14番）を押すと、縦フェーダー（12番）が下がっている状態でも、ヘッドホンに音が流れるので、曲を予め聴いて確認したい場合に便利です。

応用編

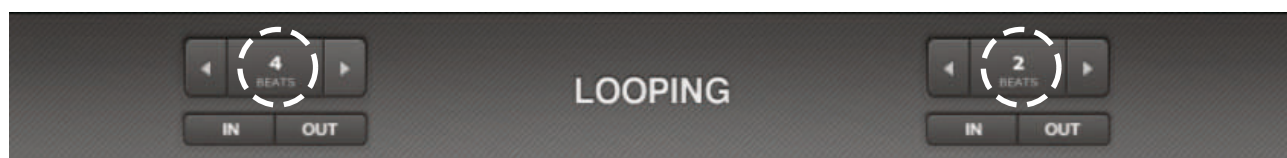
1.CUE POINT

Spin コントローラーにボタンはありませんが、CUE POINT をキーボードショートカットで行うことが可能です。
option+Q/W/E でデッキ 1 の CUE を 3 ポイントリアルタイムで記憶します。CUE ポイントに戻すには Q/W/E キーをプッシュ。
(デッキ 2 は「I/O/P」キーが該当します)

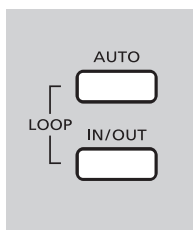


2.LOOP

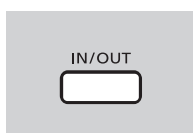
ソフト上で基本になる LOOP の長さを指定しておきます。(これは自分の好みのスタイルで OK です)



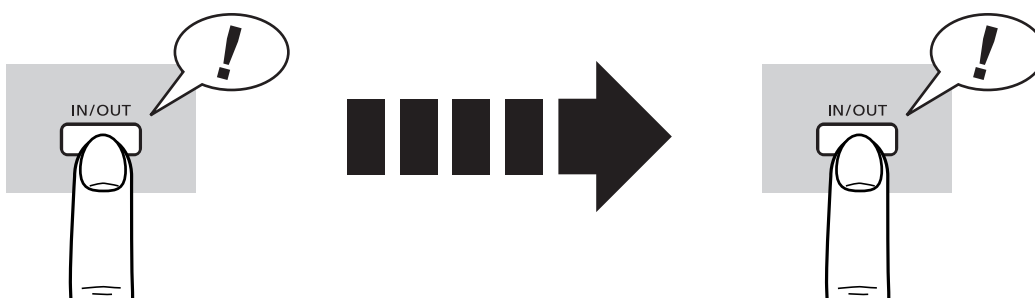
プレイ中にここでループしたいという部分で LOOP ボタン（4番）を押します。（赤色に点灯します。）
 押した瞬間から自分の設定した長さで LOOP が始まります。
 LOOP を終えて曲に戻りたいときには再度 LOOP ボタンを押します。



また LOOP 中にその下の IN/OUT ボタンを押すと音符（LOOP の長さ）が半分ずつに短くなります。
 これによってドラム ROLL のような効果を出すことができます。

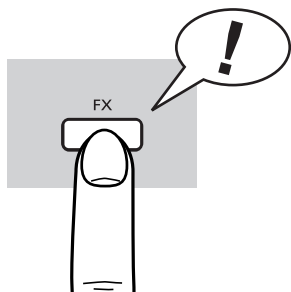


また、その時の気分で瞬時に LOOP の長さを変えて使用したいときには最初から IN/OUT ボタンを利用します。
 IN/OUT ボタンを LOOP を始めたいところで押します。ループを終えたい所で再度 IN/OUT ボタンを押します。
 これで自分のお好みの長さの LOOP が完了します。LOOP が完了したときには LOOP ボタンは同じく赤色に点灯します。
 LOOP から抜けたい場合は同じように LOOP ボタンを押します。
 また、この方法で LOOP している時にも IN/OUT ボタンをブッシュしていくと音符（LOOP の長さ）が短くなります。



3.FX

FX ボタンを押すと、曲にエフェクトをかけることができます。
エフェクトと原音のバランス調整はソフト画面下の FX ボタンをマウスでクリックします。Spin のデフォルトでは ECHO になっています。
このアサインを変更したい場合は MIDI メニューから > コンフィグ を開きます。Spin の FX ボタンを一度クリックすると該当するマッピングのところが青色になります。
その右側、Action（動作）という項目で変更が可能です。



★アサインの変更方法



※MIDI アサインはコントローラーに複雑に割り当てられていますので、他のキー情報と重複しないよう細心の注意が必要です。
※キーアサインを初期設定に戻したいときには MIDI Configuration より Spin を読み込んでください。

サポート

トラブル・シューティング

①コンピューターが Spin を認識しない

- ・コンピューターの別の USB 端子に Spin をつないでください
- ・USB ケーブルが正しく接続されているかご確認ください
- ・Spin が USB ハブを介して接続されている場合は、ハブから外し直接コンピューターの USB 端子に接続してください

②Spin から音が出ない

- ・音声ケーブルが正しく接続されているかご確認ください
- ・アンプ、スピーカーなどの電源が入っているかご確認ください

オフィシャル・サポート・チャンネル

Spin 本体のサポートとカスタマーサービスについては、

ベスタクス・サポート・サイト

<http://www.vestax.jp/info/contact/>

主な仕様

寸 法 : 354mm(W) × 240mm(D) × 35mm(H) [45mm(H) 最大]

質 量 : 1.5kg

消費電力 : DC5V 500mA(USB POWER)

アダプタ : DC7.5V 1A (別売り)

保証とアフターサービス

保証書（別添付）

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管して下さい。

保証期間

お買い上げの日から1年です。

補修用性の迂愚品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。

この期間は経産省の指導によるものです。

性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談

●製品の使用の問合せ及びサポート

お問い合わせ：cs@vestax.jp

web: http://www.vestax.jp

●修理に関するご相談並びにご不明な点はお買い上げの販売店にお問い合わせ下さい。

修理を依頼されるときは

異常のあるときは使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼下さい。

（保証期間中であっても、内容により有償となる場合があります。）

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示下さい。
保証の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

ご相談の上修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。見積りが必要な場合はあらかじめお伝え下さい。

お買い上げの日

お買い上げ店名

電話（ ） -